

# タイトル：そばに賭けた地域振興 ―地域の農地は地域で守る―

団体名：農事組合法人 大井沢農作業受託組合

代表者名：渋谷 健悦 組合員数：5名 平成12年5月設立

## 1 組織の概要

中山間地という土地条件の中、遊休農地の増大や観光客の減少等に危機感を抱いた農業者が、平成8年そばの刈取り組合を組織した。

その後、法人に発展し、地域の農地集積の受け皿として期待に応えながら、農地の集約、園芸作物導入による雇用の創出を図る一方、地域の民宿組合や民間企業と連携を進めながら地域振興に寄与している。

## 2 活動内容

(1) 地域の農業者の高齢化や農業就業人口の減少等の中、そばの栽培を行いながら遊休農地の防止に努めている。特に平成12年に法人化した後は、地域の農地や経営移譲の受け皿としての役割を高めつつ、平成15～17年においては県の水田畑地化事業により排水対策を実施、品質の向上を図りながら現在に至っており、平成19年現在、大井沢地区の農地の約半分の面積を経営するに至っている。

(2) 地元民宿とタイアップした大井沢そばまつり等のイベント開催により交流人口の増加に寄与しているほか、地元製麺業者に販売、商品化されている。

(3) 法人化後、枝豆、わさび等労働集約型の園芸作物に取り組んでいる。これは、単に収益性の確保にとどまらず、地域の雇用創出増大を目標としており、平成18年実績として、のべ285名の臨時雇用を行っている。

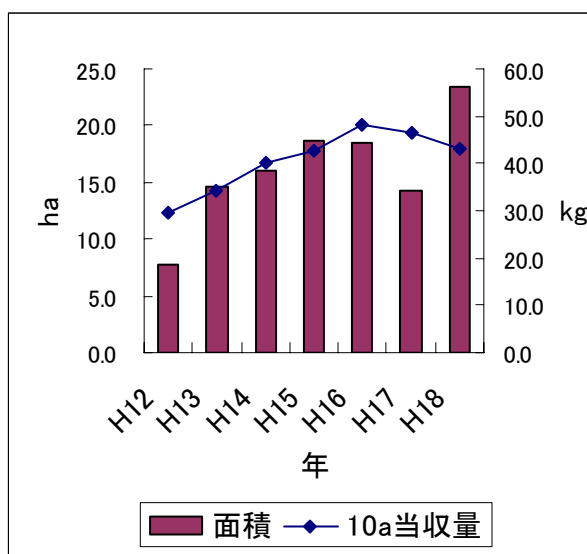


図 面積及び10a当収量の推移

## 3 今後の発展方向

(1) 農地集積は、単に大井沢地区にとどまらず、岩根沢地区等町内他地区からの期待も高まっており、今後コンバインを1台増設し、これに対応していく計画である。

(2) 今後の面積拡大と新たな展開に備え、大井沢地区内外から新たな組合員を募り、経営の安定化を図る。

(3) 山菜等多様な園芸作物の栽培の拡大を進めつつ、そば屋の開業等新たな展開を模索しながら、周年営業、周年雇用や交流人口の増加等、一層の地域貢献を果たしていく。